

四万十市立具同小学校 1 年 1 組 生活科学習指導案

単元名「たのしいあきいっぱい ～あきのこうえんのすてきをしょうかいしよう～」

平成 28 年 1 月 17 日

指導者：竹又 実佳

1 単元設定の理由

(1) 単元について

本単元は、学習指導要領の内容 (5)「身近な自然を観察したり、季節や地域の行事にかかわる活動を行ったりなどして、四季の変化や季節によって生活の様子が変わることに関心、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする。」と内容 (6)「身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりなどして、遊びや遊びに使う物を工夫してつくり、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなで遊びを楽しむことができるようにする。」を主な内容として単元を構成する。

本校の周りには、トンボ公園をはじめ赤鉄橋下の河川敷や 5 つの公園があり、豊かな自然環境に恵まれている。また、児童の通学路には田んぼや畑があり、タニシやカマキリの卵、オタマジャクシなどを見ることができ、日常生活の中にも自然がいっぱいあふれている。そんな環境のもと、児童は、一年を通して身近な自然に触れ、体全体で自然に溶け込んで遊び、四季折々に変わる自然の景色の変化に対して多くのことに気付いたり、発見したりの連続である。その気付きや発見を他者と交流し合うことで、また新たな気付きや発見へと質を高めていく。

本単元で子どもたちは、「春や夏の公園探検」と「秋の公園探検」の時の様子を比較することで、自然の様子が変化したり、季節によって生活の様子が変わったりしていることに興味関心を深めていく。また、体験で得た気付きや発見を他者と紹介し合う活動を通して、気付きの質を高め、自分たちがその中で生活していることや、自分たちの生活そのものを楽しめるということを感じていく。さらには、「公園探検」という体験活動を通して、自分たちの身の周りにある施設設備に目を向けながら自然と親しみ、地域を大切にしようと思う心情を育むことにつなげたいと考える。

この単元での学習は、後の「つくろう あそぼう」の単元へとつながる。児童が好む遊びの中に、主として自然の物物を使ったり自然の現象を利用したりする遊びや、不要になった物などを使った遊びなど様々な遊びが考えられる。自ら自然に関わり、「みんなで遊ぶと楽しいね。」「こんなのあったよ。」「次はこんなことしたいな。」など他者とのかわりを大切にしながら、「教えたい」「伝えたい」という意欲を高め、主体的に学習を進めていけるよう単元のつながりをも大切にしていきたい。

(2) 児童について

子どもたちは、これまで校区にある 5 つの公園探検をしてきた。「春の公園」「夏の公園」「秋の公園」と、季節ごとの公園探検を通して、自然の様子の変化に関心している。それぞれの公園の良さや違いに関心しながら、思い思いに季節の公園を楽しんできている。帰る時には、公園に落ちている「お気に入りの葉っぱ」を持ち帰り、画用紙に書き写して探検の振り返りに活用してきた。

春には、季節の鮮やかな草花に目を向け、「この公園はあじさいの花がきれい。」「この公園にはあじさいは咲いてないね。でも柳の木や藤棚があつていいね。」という気付きを紹介し合ってきた。

また、「この木の下は風が気持ちいいね。」「葉っぱがきれいだね。」「鳥がいるよ。」「前に来た時よりきれいになってるよ。」「また来たいね。」などそれぞれ自分自身との関わりに気付くことができた。

夏には、「春に行った公園がどうなっているのかな。」「花が増えてると思うよ。あじさいは枯れると思うよ。」等、春の公園探検を振り返ることで「夏の公園に早く行ってみたい。」「どこが変わっているのかな。」という興味関心を持ち学習活動を行ってきた。実際に行ってみると、「あ、草が増えてるよ。」「柳の葉っぱが伸びてる。」「木に葉っぱが増えてるよ。」など変化に目を向けることができた。

そして、本単元である「秋の公園探検」では、春や夏の公園探検の時とは違った自然の様子に目を向けた子どもたちからは、きっと思い思いの歓声上がるだろうと予想される。秋の公園の素敵な「もの・こと・ひと」に気付き発見するという活動を通して、校区の公園の良さに気付き、「宝物」として他者と積極的に紹介し合い伝えようとする姿が浮かんでくる。

(3) 指導について

以下の学びを通して、児童が自分の考えや思いを自然に伝え合うことができたり、友達と仲良く活動し交流し合うことを楽しんだりしながら気付きの質を高めていきたい。

①季節を通じて

春・夏・秋・冬と四季を通じて季節の変化に気付くことができるように、探検に出かける前のイメージマップを作成し、思い思いのイメージを出させることにした。探検後には、探検しての気付きをイメージマップに付け加えるという学習を繰り返して行い、気付きの質を高めることをねらいとした。また、それぞれの公園の落ち葉を持ち帰り、画用紙に書き写し「季節の木」として学級に掲示し振り返りに活用してきた。

②公園の違いを楽しむ

5つの公園にはそれぞれに特徴があり、子どものお気に入りの公園もさまざまである。十分に遊ぶ時間を確保することで、その公園でしかできない遊びを体験させ、草花や生き物にも目を向けさせた。友達と仲良く活動していく中で、それぞれに気付くところに違いがあって、感じ方の違いも楽しませたい。

③表現活動を意識

体験したことを友達に伝えやすくするために、事前事後ともにワークシートを活用してきた。ワークシートには個々の気付きの変化がわかるように、一年生なりに思考ツールを活用させた。また、ペアやグループなどを活用して話し合い活動も積極的に取り入れてきた。

④板書と掲示物の工夫

校区の公園の良さに気づくと共に、四季折々の公園の変化が見てすぐわかるように掲示してきた。体験活動を振り返る際には、前時の学習を常に意識しながら本時の学びが深まるように、学習の足跡を残すなど掲示の工夫をした。板書では季節ごとの比較がしやすいように、また気付きの変化がわかるように、掲示物や写真などを生かすことを意識してきた。掲示では四季の変化がわかるような並びを工夫してきた。

2 単元の見目

- ・秋の公園に出かけ、身近な自然と関わりながら遊ぶことを通して、四季折々の公園の良さに気付くことができる。
- ・体験活動を通して四季の変化に気付き、気付いたことや感じたことを楽しみながら表現し合うことができる。

3 単元の評価規準

		生活への 関心・意欲・態度	活動や体験についての 思考・表現	身近な環境や自分について の気付き
単元の評価規準		①秋の自然や季節の変化に関心を持って関わろうとしている。 ②秋の自然を利用した遊びに関心を持ち、みんなとの遊びを楽しもうとしている。	①四季の変化や、季節によって生活の様子が変わることについて、自分なりに考え表現している。 ②身近な自然の中から遊びを考え、工夫している。	①春から秋になり自然の様子が変化したり、自分たちの生活の様子も変わっていることに気付いている。 ②身近な自然を利用して友達と遊ぶことを通して、伝え合い紹介し合うことの楽しさに気付いている。
学習活動 (小単元) における 評価規準	1		①春や夏の草花、生き物について、見つけてきた物を自分なりに表現している。	
	2	①秋の草花や木、虫などに興味を持ちそれらを観察したり木の実を集め、それらで遊んだりしようとしている。	②秋の草花や生き物を観察し、それらを使った遊びを考え、みんなで楽しく遊んでいる。	①春から秋になり自然の様子が変化したり、自分たちの生活の様子も変わったりしていることに気付き、記録カードに書いている。
	3	①見つけた秋の様子を絵で表現しようとしている。	①季節が秋に変わったことに気付き、見つけた秋について話し合い、表現している。	②作った作品を使って、自分が見つけた秋を楽しんで紹介し合うことができている。
	4	②持ち帰ったものを使って、自分のしたいことを、素直に表現しようとしている。		②秋の自然物を使って、みんなで遊ぶことの楽しさに気付いている。

4 単元計画（全14時間）

○学 習 活 動	指導や支援のポイント	評価規準
〔単元1〕「こうえんたんけん」にしゅっぱつしよう（2時間）		
○秋の公園探検について考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・写真を提示することで、春や夏の公園探検を想起させ、秋の公園への興味関心を高める。 ・思い出したことを意欲的に発表できるように、教室内の掲示物にも目を向けさせたい。 	<p>【思考・表現】</p> <p>①春や夏の草花、生き物について、見つけてきた物を自分なりに表現している。</p>
〔単元2〕あきのこうえんをたんけんしよう（6時間）		
○秋の公園に出かけ季節の変化を感じ取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・積極的に活動できるように目的を確認し、友達と仲良く交流しながら活動するよう促す。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>①秋の草花や木、虫などに興味を持ちそれらを観察したり木の実を集め、それらで遊んだりしようとしている。</p>
○楽しい秋の遊びを考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良く活動させることで、公園内の施設設備や周りの自然を使った楽しい遊びに気付かせるようにする。 	<p>【思考・表現】</p> <p>②秋の草花や生き物を観察しそれらを使った遊びを考え、みんなで楽しく遊んでいる。</p>
○秋の公園のすてきを見つける。	<ul style="list-style-type: none"> ・公園探検の時の様子を提示し、季節の変化とともに変わってきた公園内の様子に気付かせ、お気に入りを紹介できるようにする。 	<p>【気付き】</p> <p>①春から秋になり自然の様子が変化したり、自分たちの生活の様子も変わったりしていることに気付き、記録カードに書いている。</p>
〔単元3〕あきのこうえんのすてきをしょうかいしよう（5時間）		
○見つけた秋を発表しよう。 【本時】	<ul style="list-style-type: none"> ・夏と秋の公園の違いから、どんな秋を見つけたか、発表できるようにする。 ・活動時の写真などを掲示し今までの活動を想起できるようにする。 	<p>【思考・表現】</p> <p>①季節が秋に変わったことに気付き、見つけた秋について</p>

<p>○紹介の仕方を工夫し、準備をする。</p> <p>○見つけたすてきを紹介し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達の紹介したい方法はできる限り実現できるように、紹介の仕方を考えさせたい。 ・どんな方法があるか例を提示し、児童が考えやすい工夫をする。 ・友達の紹介を聞いて共感したり、感動したことなどを伝え合う時間を確保する。 	<p>て話し合い表現しようとしている。</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>①見つけた秋の様子を絵で表現している。</p> <p>【思考・表現】</p> <p>①季節が秋に変わったことに気づき、見つけた秋について話し合い表現している。</p> <p>【気づき】</p> <p>②作った作品を使って、自分が見つけた秋を楽しんで紹介し合うことができている。</p>
<p>〔单元4〕 みんなであきをたのしみたいね（1時間）</p>		
<p>○秋の公園探検を振り返り、秋の「はっぱであそぼう」につなげる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた秋の自然物を使って作りたい物をつくれるようにイメージを持たせる。 	<p>【関心・意欲・態度】</p> <p>②持ち帰ったものを使って、自分のしたいことを、素直に表現しようとしている。</p>

5 本時の学習（9/14時間）

(1) 目標

秋の公園探検を通して見つけたことを発表し合い、夏の公園と違った秋の公園の良さに気付くことができる。

(2) 準備物

公園探検の時の写真・事前の学習のまとめ・画用紙

(3) 展開

学 習 活 動 [発問 (★)]	学習活動への支援 (○) と評価 (◆)
1. 夏の公園探検の時の様子を思い出す。 2. 本時のめあてを確かめる。	○これまでの探検の時の写真や掲示物を提示し、夏と秋の公園の違いに気付かせ意欲を高める。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> みつけたあきをはっぴょうしよう。 </div>	
3. 秋の公園で見つけたことを思い出し、発表し合う。 ★どんな秋を見つけましたか。 4. 秋の公園のお気に入りを発表する。 ★秋のどんなところが一番好きですか。 ★秋の木をみんなで作ってみましょう。 5. これからの活動について考える。	○探検の振り返りをするために、見つけた秋を伝え合う活動を入れる。 ◆季節が秋に変わったことに気づき、見つけた秋について話し合い表現しようとしている。 【思考・表現】(発表) ○友達が見つけた秋の良さも知ることで、仲良く楽しく活動した時の様子を感じ取らせたい。 ○秋の公園の良さに気付かせることで、紹介したい秋の公園のすてきを見つけることができるようにする。 ◆見つけた秋の様子を絵で表現している。 【関心・意欲・態度】(行動) ○どんな方法で秋を紹介していきたいか、自由に発表することで、次時の「秋の公園のすてきを紹介しよう」につなげる。

6 板書計画

あきのこうえんたんけん めあて 見つけたあきをはひょうしよう。 あめのすてきをしようかいしよう。

目録

- 赤い はりばり
- いちろう
- おうぞりんぼ
- まごたは
- ぶつぶつのは
- ざざざざ

木

- はら
- よつ虫
- 木のこ
- くつ虫
- まつぼくり

花

- コスモス
- あごが
- まいた
- さごんか
- さす

あきの木



虫

- ははの上
- けむし
- ゴクビツ虫
- さなぎ

お気に入り

- 赤いはら
- かわいいコスモス
- さいるいところ 花ふん
- はげのとんぐり
- おもしろい
- まつぼくり

なつよりはらはかみじかくなつた。

おちはからからはりばり

ちいさになつた。